

第1学年 「むくむくニョキニョキ」(つくりたいものをつくる) 学習指導案

1 授業構成

目標と表現内容

本題材は、息を吹き込むと飛び出す仕組みを生かして、その動きの面白さを味わいながら楽しいおもちゃをつくることをねらいとしている。

目標

- 息を吹き込むと飛び出す仕組みを理解し、その動きの楽しさや面白さに関心をもつことができる。
- 飛び出す仕組みの面白さを生かした楽しいおもちゃを工夫してつくることができる。
- つくったものをお互いに見せ合ったりして遊ぶことができる。

表現内容

○何を: 息を吹き込むと飛び出すおもちゃを

○何で: 【主材料】 ビニール袋・ストロー・箱・付加材料(紙テープ・平テープ・折り紙など)で

【造形要素】

- ・飛び出す仕組みと動き
- ・材料の形・色・性質の組合せ

○どのようにして:

- ・何から何がどのように飛び出すか考えて
- ・飛び出す感じが出るように色や形を組合せて

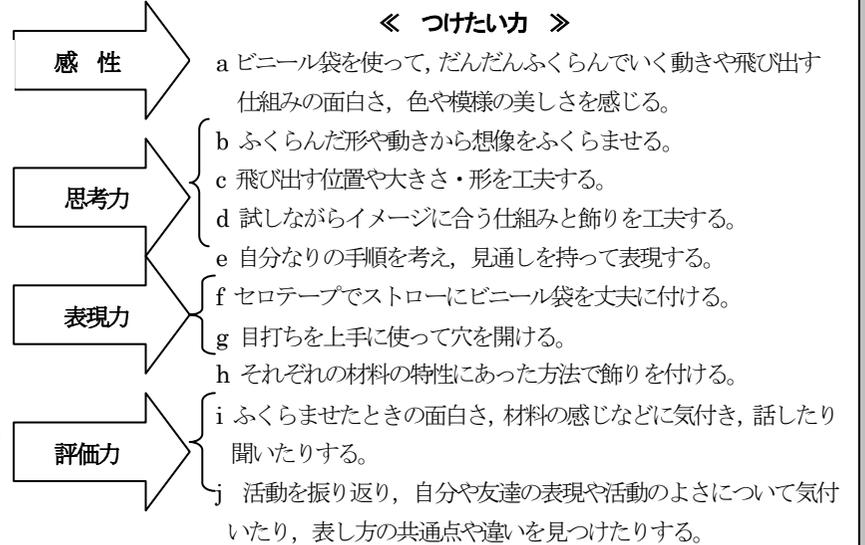
子どもの実態と本題材でつきたい力

本学年の子どもたちは、1学期に「みんななかよし」(つくりたいものをつくる)で、重ねた2枚の紙をはさみで切り、思いのままに楽しい飾りをつくる活動で見せた以下の実態から、本題材でつきたい力を次のように考えた。

◀ 子どもの実態 ▶

- ・紙を重ねて切ると、同じ形ができることに気づき、楽しさや面白さを感じる事ができた。
- ・重ねてできた2枚の形から、色の組合せを工夫して周りの飾りを作ることができたが、一方で、自分では発想が浮かばず、難しさを感じている子どももみられた。
- ・はさみで切る活動においては、前時までの学習を通してできるようになっているが、のりで接着する活動では、技能が伴わず、つくことに難しさを感じた子どももいた。
- ・自分や友達作品を見せ合い、互いのよさを見つけ、認め合うことができた。

◀ つきたい力 ▶



4つの力を働かせ、認知する活動や手だて

本題材の指導にあたっては、子どもが上記の力を働かせ認知することができるように、教えることを下記のように明確にし、以下の活動を設定する。また事前に「見取りたい子どもの姿」を設定し、見取り表を用いながら共感的な価値付けを行っていく。

◆ 教えること	㊦ 探求活動	㊧ 交流活動	㊨ 振り返り活動	共感的価値付け
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な飛び出す仕組み ・ビニール袋とストローの接着の仕方 ・目打ちの安全な使い方 ・作りたいものの感じが出るような飾りの付け方。 ・振り返りの視点 	<ul style="list-style-type: none"> a ふくらむ仕組みとの出合いと試し b c 言葉により作品のイメージのふくらませる図工ノートと板書 d e h いろいろな飾りの付けかたの資料コーナー h 材料コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> i 机をグループにするこによる自然発生的な交流 i j 自分や友達作品や活動のよさを見つける交流 	<ul style="list-style-type: none"> j 図工ノート記述による活動の振り返り j 視点のある自己評価のできる振り返りカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・見取りたい子どもの姿の設定 ・見取り表の作成 ・言葉掛け ・聞き取り ・まとめの価値付け

2 指導計画（6時間）

◆教えること ㊦探求活動 ㊧交流活動 ㊨振り返り活動

配時	発想・構想 ①	構想 ②（本時2/6）	表現 ③
主 な 動	1 ストローで息を吹き込むとビニールがはこから飛び出す仕組みで遊び、発想をふくらませる。	2 自分が持ってきたいろいろな箱を使って仕組みを作り、発想をふくらませ、つくりたいものを決める。	3 発想を基に自分でつくりたいものをつくる。
見 取 り ど た も の 姿 の 例	<ul style="list-style-type: none"> ・仕組みを理解し、ビニール袋とストローの丈夫な接着を行っている。 ・遊びながら、箱から出てくるビニール袋の動きや様子を見て発想を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目打ちを使い、安全に気をつけて箱に穴を開ける。 ・いろいろな箱を使って仕組みを試しながら遊び、自分のつくりたいものを思い浮かべている。 ・友達と話し合うことにより、自分のつくりたいものを決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりたいものらしくなるように付加材料を貼って飾り付けたり、模様を描いたりしている。 ・面白さや工夫を伝え合い、自分のよさに気付いている。 ・友達の作品のよさから、もっと工夫できるところを見つけている。
か せ る を 認 手 働 か す か す	<ul style="list-style-type: none"> ◆ビニール袋とストローの接着（資料） ◆基本的な飛び出す仕組み ㊦飛び出す仕組みの試し ㊧ビニールの加工資料 ㊨振り返りノート ㊩全体交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◆目打ちの安全な使い方（資料・演示） ◆言葉による作りたい作品のイメージのふくらませかた（図工ノート・板書） ㊨振り返りノート ㊩全体交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◆飾りのつけ方（参考作品・演示） ㊦材料コーナー ㊨振り返りノート ㊩グループ交流
学 習 活 動 と 内 容 (C)	<p>(1) ストローで息を吹き込むとビニール袋が動き出す様子を見て、どんな感じに見えるか話し合う。</p> <p>○ビニール袋の動きに面白さを感じ、発想をふくらませること (感)</p> <p>(2) 箱を加えた基本の仕組みをつくって遊び、何に見えるか想像し、発想をふくらませる。</p> <p>○ビニール袋とストローを丈夫に接着すること (表)</p> <p>○ビニール袋の動きに興味をもち、いろいろな仕組みの取り付け方をして遊ぶこと (感)</p> <p>(3) 思いついたことを全体で話し合い、発想を広げる。</p> <p>○発想したことを伝えること (思)</p> <p>(4) 自分の活動を振り返り、自分の活動のよさに気付くこと</p> <p>○活動を振り返り、次時の活動のよさに気付くこと (評)</p> <p>○発想に合った箱をいくつか思いつくこと (思)</p>	<p>(1) 自分が準備してきた箱に穴を開けてビニールとストローを取り付けて、飛び出す仕組みをつくる。</p> <p>○目打ちを使って箱に穴を開け、飛び出す仕組みをつくること(表)</p> <p>(2) 箱から飛び出す仕組みで遊び、何に見えるか想像し、発想をふくらませる。</p> <p>○箱の形やビニールの飛び出す方向をいろいろ試しながら遊び、発想をふくらませ、図工ノートに記入すること (思)</p> <p>(3) 思いついたことを全体で話し合い、発想を広げる。</p> <p>○発想したことを伝えること (思)</p> <p>○言葉により作りたい作品のイメージをふくらませること (思)</p> <p>(4) 自分の活動を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○発想にあったビニールや箱を選ぶこと (思)</p> <p>○活動を振り返り、自分の活動のよさに気付くこと (評)</p>	<p>(1) 参考作品から箱やビニールの飾り付けの方法を知る。</p> <p>○色画用紙や折り紙等を用いた付加材料を貼り付けるよさに気付くこと (感)</p> <p>○参考作品を見て、自分の作品の表現に生かせることを思いつくこと (思)</p> <p>(2) ビニール袋に絵や模様を描いたり貼ったりする。</p> <p>○ビニールをふくらませたり、縮めたりして、試しながらつくること (思)</p> <p>(3) 箱に絵を描いたり、折り紙を貼ったりして飾りをつける。</p> <p>○思いにあわせて材料を選びつくること (思・表)</p> <p>(4) 自分たちの活動をグループで振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○自分の活動のよさに気付くこと (評)</p> <p>○同じグループの友達とそれぞれのよさを伝えること (感・思)</p>

配時	表現 ④⑤ (本時4/6)	鑑賞 ⑥
主 話 な 動	4, 自分のつくりたいものをつくるつくり方や飾り方を工夫する。	5 自分や友達作品のよさを見せ合いながら遊び、よさを見つけ、認め合う。
見 取 り ど た も い の 姿 の 例	<ul style="list-style-type: none"> 資料コーナーを見て、自分の表現に生かしている。 友達の活動や表現のよいところを探し出そうとしている。 よりよい表現に気付き、工夫を加え、つくり続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作品で楽しく遊んでいる。 自分のよさやがんばり、成長に気づいている。 見つけたよさを進んで伝えようとしている。
か せ る を 認 手 働 立 か す て	<p>◆飾りのつけ方 (参考作品・演示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦材料コーナー ㊧振り返りノート ㊨グループ交流 	<p>◆作品を鑑賞するときの具体的な視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊩グループ交流 ㊪出品カード ㊫振り返りノート
学 習 活 動 と 内 容 (O)	<p>(1) 前の時間に見つけた、自分や友達のよさを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分や友達の表現のよさに気付くこと (感・評) <p>(2) 友達の表現や資料から、自分の活動の見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品をよりよくするための新たな材料に気付くこと (思) ○作品をよりよくするための新たな加工方法に気づくこと (思) <p>(3) ふくらむ仕組みや箱に付加材料を用いて飾り付けを工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平テープ、折り紙、色画用紙等の付加材料を用いて飾り付けをすること (思・表) ○輪ゴムやビニールテープを用いて袋の形を変化させること (思・表) ○箱を切ったり、別の箱と組合せたりして加工すること (思・表) <p>(4) 自分の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動を振り返り、自分の活動のよさに気付くこと (評) 	<p>(1) 自分の作品や活動を振り返り、振り返りノートと出品カードを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の活動や表現のよさに気付くこと (評) <p>(2) 自分の作品のビニールをふくらませ、自分の作品のよいところやがんばったところを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の活動や表現のよさに気付き、進んで伝えようとする事 (評) <p>(3) 友達の発表を見て、友達の表現のよさやがんばりを見つけ、伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達の表現のよさや頑張りを感じ取り、受け止めること (感・評) ○自分が見つけたよさを進んで友達に伝えようとする事 (評)

2/6 時間

第1学年 本時図画工作科学習指導案

6 展開

3 本時目標

- 飛び出す仕組みの発想をふくらませ、つくりたいものを決める。
- 自分が持ってきた箱を使って、安全に道具を使いながら仕組みをつくる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、飛び出す仕組みをつかって何をつくるかを言葉で考え、つくりたいもののイメージをもつことができるであろう。

- ⊗つくりたいものの発想をひろげる教師の言葉掛け
- ⊗言葉で発想を広げる図工ノートの記入
- ⊗⊗友達の発想を自分の発想に生かすことのできる発表と交流活動

5 準備

- 子ども…箱・前時につなげたストロー・ビニール・はさみ・のり
- 教師…目打ち・目打ちの使い方の資料
仕組みを付けるための資料
図工ノート・見取り表

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時の活動を振り返り、めあてを確認する。</p> <p>○前時は箱で遊んで「どこから」「なにが」「どのように」飛び出すかを考えたことを発表すること (思)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">どんな「むくむくニョキニョキ」をつくるか かんがえよう。</p> </div> <p>2 飛び出す仕組みのつくりかたを知り、自分が持ってきた箱で仕組みをつくる。</p> <p>○安全な目打ちの使い方を知ること (表)</p> <p>○目打ちで自分の箱に穴をあけ、飛び出す仕組みをつくること (感・表)</p> <p>3 飛び出す仕組みの面白さからつくりたいものを発想する。</p> <p>(1) 発想した言葉を図工ノートに記入する。</p> <p>○自分が用意した箱を使って遊ぶことで、「どこから」「なにが」「どのように」飛び出すかを考えること (思)</p> <p>(2) 発想した言葉を発表する。</p> <p>○友だちの発表を聞き、おもしろさを感じること (感・評)</p> <p>○友達のよさを自分の表現に生かすこと (思・評)</p> <p>4 自分のつくるものを決め、活動を振り返る。</p> <p>(1) 図工ノートに書いた中から自分がつくるものを決める。 (思・評)</p> <p>○自分がつくるものをはっきりさせること</p> <p>(2) 自分の活動を顔マークに印をつけて振り返る。</p> <p>○できるようになったことに気付くこと</p>	<p>⊗言葉でどう表現するかを思いつきやすくするために「どのように」は前時に出てきた「による」「シャー」などの言葉を掲示する。</p> <p>⊗自分の箱でつくるという意欲をもたせるために事前に箱の準備をしているか確認しておく。</p> <p>◆目打ちを安全に使うこと</p> <p>◆「どこから」「なにが」「どのように」飛び出すように見えるかを尋ね、考えさせること。</p> <p>◆発想を広げる図工ノートの書き方</p> <p>⊗仕組みで遊びながら書かせるようにする。</p> <p>⊗自然発生的な交流をしながらアイデアが思いっくように、机をグループで配置する。</p> <p>⊗自分の表現に生かすことができるように、図工ノートに書いたことを交流させる。</p> <p>⊗つくるものを一つ決めるために、発想した中から選ぶ。</p> <p>⊗本時の活動を振り返るために、顔マークをぬらせる。</p> <p>◆発想をふくらませ言葉に表すことで、つくりたいものがはっきりすること</p>	<p>・前時を想起し、どんなむくむくニョキニョキがあったかを考えている。</p> <p>・目打ちを安全に使っている。</p> <p>・自分の箱に仕組みをとりつけ、いろいろな出かたで遊んでいる。</p> <p>・いくつかの箱を使ったり、ひとつの箱に数個の穴を空けたりして遊んでいる。</p> <p>・箱で遊びながら「どこから」「なにが」「どのように」飛び出すかを発想して図工ノートに記入している。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">「へび」が「つぼ」から「によるり」と飛び出ている。「びっくり箱」にも見えるよ。</p> </div> <p>・自分が発想した言葉を発表している。</p> <p>・友達の発表を楽しく聞いている。</p> <p>・自分がつくりたいものを一つに決める。</p> <p>・顔マークに印をつけて、できたことを確かめている。</p>

6 展開

3 本時目標

- 飛び出す仕組みの面白さから想像をふくらませて工夫してつくることができる。
- 自分や友達の表現や活動のよさを見つることができる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、飛び出す仕組みの面白さから想像をふくらませ、工夫しながら、楽しんで作品をつくり続けることができるであろう。

- ㊦自分の思いに合わせて材料を選べるような材質や色の異なる材料コーナー
- ㊦自分の思いを表現するために参考となる飾りの付け方の資料コーナー
- ㊦表現や活動のよさに気付きやすい机の配置
- ㊦友達の表現の工夫に気付くための作品紹介
- ㊦㊦自分や友達の表現や活動のよさを見つけ、学びや価値を共有するためのグループ交流

5 準備

- 子ども…箱・ビニール袋・ストロー・セロハンテープ・折り紙・油性カラーペン・はさみ・のり
- 教師…材料コーナーの材料飾りのつけ方の資料見取り表・図工ノート

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時までにかんばったことを紹介し合い、めあてを確かめる。</p> <p>(1) 自分や友達の作品を見て、気付いた表現や活動のよさを発表する。</p> <p>○自分や友達の表現や活動のよさに気付き、本時の活動の自分のヒントにすること (感・評)</p> <p>(2) めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>じぶんの「むくむくニョキニョキ」をもっとくふうしてつこう。</p> </div> <p>○本時の見通しを持つこと (思)</p> <p>(3) 新たな付加材料の飾り方の資料を見る。</p> <p>○材料のもつよさに気付くこと (感)</p> <p>○自分の作品をよりよくするための工夫について考えること (思)</p> <p>2 つくりたいものらしさが表現できるように工夫しながらつくる。</p> <p>○自分のつくりたいものに合う加工の仕方を見直すこと (思・表)</p> <p>○テープ類などの付加材料を用いて飾り付けをすること (思・表)</p> <p>3 グループで友達と作品を見せ合う。</p> <p>○自分や友達のお互いの表現や活動のよさに気づくこと (感・評)</p> <p>4 全体でも作品の紹介をし、次時の活動について見通しを持つ。</p> <p>○次時の活動の見通しをもつこと (評・思)</p> <p>○友達の表現や活動のよいところを伝えたりアドバイスしたりすること (思・評)</p>	<p>㊦全体交流をして、友達の表現や活動のよさに気付いたり、新たな付加材料の飾りの付け方の資料を見たりすることで、自分の作品を工夫していけるようにする。</p> <p>◆付加材料の飾りの付け方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平テープをさいて ・ビニールテープを切って ・紙テープを巻いて <p>㊦自分のつくりたいものに合う材料を選べる材料コーナーや飾りの付け方を考えることができる資料コーナーを設置する。</p> <p>㊦互いの表現や活動のよさに気付きやすくするために、3～4人のグループの机の配置にして、自然発生的な交流ができるようにする。</p> <p>㊦「どこからなにがどんなふう飛び出すか」を書いたビニールテープを机の上に貼り、友達にも分かるようにする。</p> <p>㊦互いの表現や活動のよさを交流する時間の設定する。</p> <p>㊦全体交流の中で、次時の活動の参考になるものを紹介する。</p> <p>◆付加材料などを使うことでつくりたいものらしさが表現できること</p>	<p>・友達の表現や活動のよいところを探し出そうとしている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>平テープをつかって、噴水らしさがよくでてるよ。折り紙の切り方がくらげらしいね。折り紙の貼りがワニの背中らしいね。</p> </div> <p>・作品をよりよくするために新たな材料や加工方法に気付き、工夫を加え、つくり続けている。</p> <p>・材料コーナー、資料コーナーを見て、自分の表現に生かしている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ビニールテープが飛行機の窓につかえそう。</p> </div> <p>・互いにアドバイスをしたり、表現のよいところを伝えたりしている。</p> <p>・友達に工夫したことを紹介することができる。</p> <p>・友達の作品を見て気付いたよさやアドバイスを伝えている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>花火がきれいになったね。ロケットにもっと飾りを付けたらいいよ。</p> </div>